



杉谷 洋一 議員

定住化促進対策は

町長

拠点地区の移住定住の加速を

【杉谷】本町の人口増対策として、立地条件のよい山陰道IC付近に分譲住宅団地の造成を以前から提案している。その第一歩である「大山口南団地」の現状は。

【町長】現在14区画中、9区画の応募があり、完売に努めている。

【杉谷】道の駅「大山恵みの里」隣接の住宅団地の現状は。

【町長】民間事業者の造成で、現在8区画中5区画が予約済である。

【杉谷】末長堤を利用し



完売間近の大山口南団地

た住宅団地の概要は。

【町長】町所有地の活用で民間事業者に企画提案を募った。「子育てしやすく・高齢者に優しいまちづくり」のコンセプトで31区画と緑地公園が計画され、平成29年度中に完成予定である。

【杉谷】分譲住宅団地の条件緩和は。

【町長】県と度重なる協議を経て本町独自の制度として、拠点地区を設け民間宅地開発を可能としたものであり、本制度により移住定住を加速させたい。

学校教育の現状は

教育委員

理科・英語など

教育力の向上を

【杉谷】理科の興味や関心が希薄となっていると指摘されている。

自由な研究などによる「おもしろさ」の理科教育は。

【教育委員長】大山小学校が「小学校理科教育パワーアップ事業」の指定をうけ、「自らの気づきや考えを深める子どもの育成」をめざし取り組んだ。

その理科教育の研究成果を町内や西部地区の他校に発信し、教育力の向上に努めたい。
【杉谷】今後の学習指導要領の改定にともなう小学校の英語教育は。

【教育委員長】国・県の動向をふまえて、時間

数増加や先生の教育研修・教材の開発などを対応したい。

【杉谷】読書習慣の未形成からの活字離れによる読解力の低下が指摘されているが、本町

の小中学校の現状は。

【教育委員長】今年度の図書館利用の調査結果は国や県よりも高いが、利用しない児童・生徒もあり、関係機関と連携し対応したい。



国際宇宙ステーションと交信（大山小）